



そらとつちとみどりの会話

NOSAI



改選の年

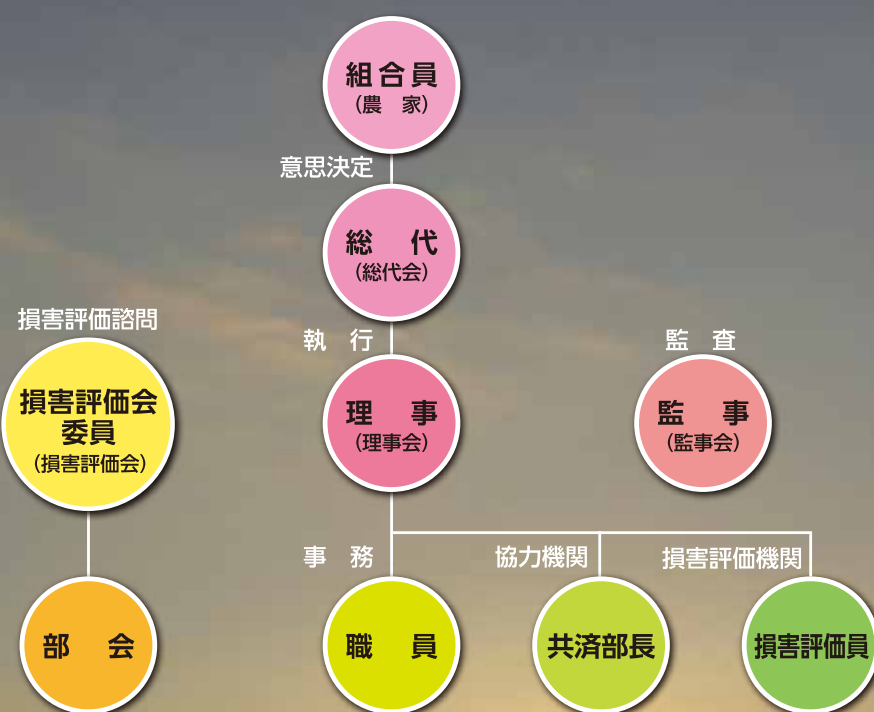
あなたの声を組合運営に



改選の年

あなたの声を組合運営に

今年は任期満了に伴う総代など NOSAI 関係者の改選の年です。農業共済制度は組合員の代表者によって運営されています。あなたの声を反映させる機会です。適切な人選をお願いするとともに、今後も農業共済事業にご理解とご協力をお願いします。



香川県知事

浜田 恵造

農家経営の安定に一層の支援を

明けましておめでとうございます。

皆様方には、農業の振興をはじめ、県政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

また、去年は、台風などによる農作物や園芸施設の被害を受けた農家の救済について、一方ならぬご尽力をいただき、心から感謝いたします。

農業・農業者を取り巻く環境が大きく変化中、自然災害に対する農業経営のセーフティーネットである農業共済事業が果たす役割は、ますます重要になっています。

香川県では、農業の持続的発展と笑顔で暮らせる農村の実現を目指してまいりますので、皆様方には、今後とも農業災害補償制度を通じて、本県の農業振興と農家経営の安定に、より一層のご支援、ご協力をいただきますようお願いいたします。

新しい年を迎え、香川県農業共済組合のますますのご発展と、組合員の皆様のご健勝、ご多幸をお祈りいたします。



香川県農業共済組合長理事

上砂 正義

農家を支え続ける組織運営を

明けましておめでとうございます。

日頃より皆様方には、本組合の事業全般にわたり格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、昨年を振り返りますと、台風11号による強風や豪雨で、園芸施設やもも等の果樹に大きな被害が発生しました。被害にあわれました農家の方々には心よりお見舞い申し上げます。

農業情勢も厳しさを増し、TPPの大筋合意を受けて幅広い品目の価格水準の下落が懸念されます。このような中、農家の経営全体に着目した新たな収入保険制度も検討されています。

NOSAIでは、農家ニーズの変化や多発する自然災害に対応すべく制度改正を重ね、補償内容の充実と対象品目の拡大を図っています。今後も農業経営の安定と農業生産力の発展に寄与できる組織づくりを目指して努力してまいりますので、より一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

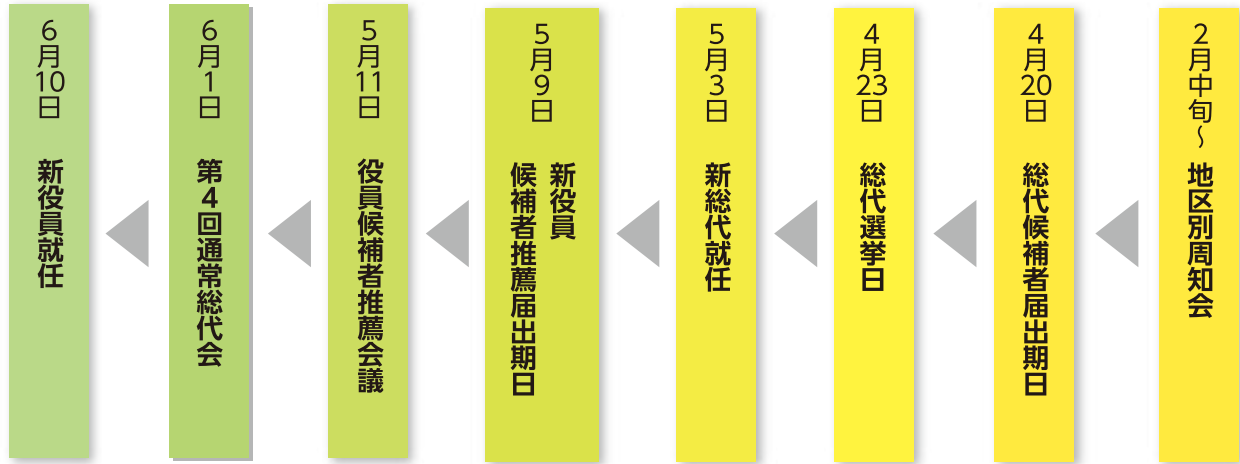
新年のごあいさつ

本年もよろしく
お願い申し上げます

参 監 代		理 副 組	
事 事 表		事 長 合	
富木田好正	中西嘉弘	中山敏夫	藤井正和
合田由行	合田政光	松内敏男	小野正俊
横山正太郎	山内保弘	鉄川武夫	谷口義弘
杉尾眞澄	大林伸嘉	石井保洋	川井悟
熊本美文	石井義数	三好正和	宮本静夫
宮武正明	香西俊之	田中健次郎	吉田孝博
田中健次郎	吉田孝博	宮崎孝仁	上砂正義

職員一同

改選の主な日程



総代(定数201人)



議案を審議する総代

選出

組合員の中から立候補あるいは推薦によって届けられ、各選挙区ごとに定数を超えないときは無投票当選となります。各選挙区ごとの定数は下表のとおりです。

役割と主な仕事

組合員の代表として最高議決機関の総代会を構成。定款の変更、事業計画の設定、業務報告書の承認などの議決および役員の選任など、組合の運営方針を決めます。
一人一人が議決権を持っています。総代会に出席し、組合運営に係る重要な案件を審議します。

任期

5月3日から3年です。

●総代選挙区と定数

区域	選挙区	地区	定数
東 部	東部第1	相生、引田、小海、本町、白鳥、福米、五名	6
	東部第2	三本松、誉水、丹生	4
	東部第3	志度、鴨庄、鴨部、小田、津田、鶴羽	4
	東部第4	昭和、長尾、多和、造田、石田、神前、富田、松尾	14
高 松	高松第1	平井、田中、氷上、神山、下高岡、井戸	8
	高松第2	十河、東植田、西植田、川島、前田、川添、林	9
	高松第3	牟礼、庵治、三谷、多肥、仏生山、一宮、鶴尾、高松栗林太田、木太、屋島、古高松、女木・男木、直島	14
	高松第4	檀紙、弦打、鬼無、香西、下笠居、円座、川岡	9
	高松第5	大野、浅野、川東、安原、塩江、上西、池西、由佐	8
小 豆	小 豆	土庄、刈崎、大鐸、四海、北浦、大部、豊島池田、二生、三都、西村、草壁、安田、苗羽坂手、福田	5
中 讃	中讃第1	坂出、西庄、加茂、府中、川津、宇多津	6
	中讃第2	林田、松山、王越	5
	中讃第3	国分寺北部、国分寺南部	3

区域	選挙区	地区	定数
中 讃	中讃第4	昭和、陶、滝宮、羽床	7
	中讃第5	羽床上、西分、山田、粉所	5
	中讃第6	飯山南、飯山北	4
	中讃第7	岡田、栗熊、富熊	5
仲 多 度	仲多度第1	本島、広島、中央、塩屋、城坤、報徳、土器、飯野川西、垂水、郡家、城南、豊原、四箇、白方	8
	仲多度第2	麻野、上郷、吉田、与北、龍川、筆岡、吉原琴平、榎井、象郷	8
	仲多度第3	高篠、四条、神野、吉野、長炭、七箇、十郷造田、美合	15
三 豊	三豊第1	詫間、荘内、栗島、仁尾	4
	三豊第2	麻、二の宮、勝間、上高瀬、比地二	9
	三豊第3	上高野、本山、桑山、比地大、笠田	6
	三豊第4	観音寺、高室、常磐、一の谷、豊田、栗井柞田、木之郷、伊吹	12
	三豊第5	五郷、萩原、紀伊、大野原、豊浜、和田	10
	三豊第6	財田大野、辻、河内、神田、財田上、財田中	8
	三豊第7	大見、下高瀬、吉津	5

共済部長(4,320人以内)



パンフレットで建物共済の説明をする共済部長

選任

集落またはこれに準ずる地区ごとに推薦された方を、組合長が理事会の承認を得て委嘱します。

役割と主な仕事

組合員と組合のパイプ役として共済事業に係る事項などを組合員に伝達すると同時に、組合員から出される書類などを受理して組合に連絡していただきます。

加入申込書の取りまとめ、共済事業の推進、組合広報紙の配布、農業共済制度の普及、ほかに日常業務に関する連絡などです。

任期

4月1日から3年です。

損害評価員(1,861人以内)



かきの悉皆調査単収を相談する損害評価員

選任

地域ごとに推薦された方を、組合長が理事会の承認を得て任命します。

役割と主な仕事

評価高決定の基礎として最も重要な損害評価を行う、共済事業の要です。

水稲や果樹など、組合員から損害通知があった耕地、園地について適正公平な悉皆調査を行います。また、損害防止の指導に協力していただきます。

任期

4月1日から3年です。

損害評価会委員(187人以内)



水稲の悉皆調査単収が適正であるか調査する損害評価会委員

選任

組合は法律上の必須機関として損害評価会を置かなくてはなりません。組合員や学識経験者などの中から、組合長が総代会の承認を得て選任します。

役割と主な仕事

共済目的ごとに部会を設けて公平な損害額の認定、損害防止に関する事項について調査審議します。

評価地区ごとの均衡調整を図るため抜取調査を行い、悉皆調査の結果が適正であるかを調べます。

任期

4月1日から3年です。

役員(理事23人 監事3人)



組合運営に必要な知識を学び、業務執行にあたる役員

選任

組合員を代表する者で構成された推薦会議で推薦され、総代会で選任されます。今回の改選からは、就任時、満71歳未満の方が対象となっています。

役割と主な仕事

理事は、組合の代表機関である理事会を構成し、業務を執行。法令、定款、総代会の議決等に従い組合を運営します。

監事は、理事の業務執行状況や財産の状況を監査し、是正の措置をとれます。

任期

6月10日から3年です。

農政の動き

過去最大の農産物市場開放に
生産現場の不安強く

▼TPPにおける農産物の影響 分析結果公表

環太平洋連携協定（TPP）の大筋合意を受け、農林水産省は、主要品目ごとの影響分析結果を公表した。米や麦は「価格下落が懸念される」として競争力強化の必要性などを提起。果実や野菜は「影響は限定的」と評価しつつも「長期的には価格下落が懸念される」として、体質強化対策の必要性などを強調した。ただ、産地別の影響や影響額などの詳細は不透明で、生産現場の先行き不安や影響懸念は続いている。

▼重要品目も3割関税撤廃

TPPにおける日本の関税撤廃率は95%で、過去最高となった。農林水産物は全2328品

目のうち、1885品目（81%）の関税を撤廃する。米や牛・豚肉など重要品目（586品目）も3割（174品目）を撤廃。関税が残った品目も、無税輸入枠の新設や関税削減などを受け入れており、なんら変更のない「手付かず」は、わずか156品目にとどまった。

▼米・麦は、価格下落も

影響分析では、米は「国家貿易以外の輸入増大は見込み難い」と評価した。米国などに無税の国別枠を新設するが、現行の国家貿易制度と枠外税率が維持されることを根拠とした。ただ、新枠で米の流通量が増えれば「国産米の価格下落も懸念される」と指摘。備蓄運営による主食用米生産への影響食い止めの検討や競争力強化が必要と提起した。麦も、現行の国家貿易制度は維持されることなどから「輸入増大は見込み難い」と分析。一方で、輸入差益の45%削減によ

り輸入価格が下落し、国産価格にも影響を与える懸念があると見て、国産の安定供給のための環境整備や競争力強化の必要性を強調した。

果樹は、関税が撤廃となるオレンジやリンゴなどを、園芸作物はカボチャ、アスパラガスなどを分析。いずれも「影響は限定的」とする一方、関税撤廃で「長期的には国産の価格下落が懸念される」として、生産性向上など体質強化対策の必要性を強調した。

▼納得できる説明を

分析結果では、影響額などは示されておらず、内容も「影響は限定的」などとする一方、価格下落の可能性を示すなど、ちぐはぐ感は否めない。品目をまたいだ影響も考慮されておらず、パンの主原料である小麦の価格下落は、米の消費にも影響を与えかねないとの見方や、安価な果汁は、生果の消費減退を招くなどの懸念・不安にも応えてい

ない。輸入品との競争激化が予想される加工・業務用向けや国産の端境期向けに青果物を生産する産地には、深刻な影響を心配する声もある。

TPPは、仮に締結されても発効は早くても2年後とも言われている。政府はまず、農産物関税交渉の経緯や結果などを丁寧に説明するとともに、より具体的な経済効果や詳細な影響試算などを示し、農家の不安や懸念に向き合うことが求められる。

（農業共済新聞編集室）



麦共済

春先の降雨で被害

平成27年産麦は、おおむね好天に恵まれ、順調に播種作業が行われました。

3月、4月の降雨で根腐れを起こし収量が減少、品質の低下も見られました。また5月12日の台風6号の影響で、倒伏した耕地がありました。

損害防止

自走セット動噴一式を貸し出します

損害防止事業の一環として、自走セット動噴（吸水量30リットル/分、噴霧ホース130リ、質量140キログラム）などを各支所一式所有し、無料で貸し出しています。

対象者は、農作、畑作、家畜、果樹、園芸施設共済に加入している組合員です。

病害虫による被害軽減及び畜舎消毒に使用できます。

詳しくは、各支所までお問い合わせください。



動噴、ローリータンク、かくはん機、ノズル2本、アルミブリッジ

第39回書写コンクール

実を結んだ日ごろの鍛錬

平成27年10月17日、特賞、金賞受賞者24人の表彰式を執り行いました。



全国農業共済協会会長賞を受賞する佐々木みなもさん

審査委員の小森秀雲先生から「皆さんの作品は非常に美しく、子どもらしい躍動感あふれる素晴らしい作品です。全国どこに出しても恥ずかしくありません」と講評いただきました。

表彰式終了後は、揮毫会を実施。受賞者は、応募課題を半紙1枚だけで仕上げるという制約

の中、手慣れた筆遣いで作品を仕上げました。



慎重に筆を運ぶ受賞者

各支所の連絡先》》》》》

東部支所	高松支所
さぬき市大川町田面王子1-2 TEL(0879)43-4121	高松市三名町東原5-6 TEL(087)888-1146 0120-58-1148
小豆支所	中讃支所
土庄町大木戸沖甲5165-169 TEL(0879)62-0694	坂出市川津町金山1825-4 TEL(0877)46-1211
仲多度支所	三豊支所
善通寺市与北町山下110 TEL(0877)62-5970	観音寺市本大町1378-3 TEL(0875)25-2482 0120-031-304

組合の主な動き

1月
18日 損害評価会ぶどう共済部会 損害評価会なし共済部会
19日 損害評価会家畜共済部会
25日 第7回理事会
2月
4日 損害評価会家畜共済部会 家畜診療所運営委員会 第4回臨時総代会
10日 損害評価会大豆共済部会
15日 損害評価会大豆共済部会
16日 損害評価会かき共済部会 損害評価会くり共済部会
19日 第4回余裕金運用管理委員会 第8回理事会
23日 損害評価会任意共済部会
24日 損害評価会園芸施設共済部会

おしゃれな景観と低コストが魅力

高松市多肥下町 いろどりファーム 有馬 純一さん



「気軽に見に来てください」と笑顔で話す

竹を利用したビニールハウス「バンブーグリーンハウス」6㍓を建設したのは、平成27年4月に就農した有馬純一さん（野菜栽培、33歳）。「竹ハウスの魅力は低コスト。デザイン性も優れ、見た目の美しさに一目ぼれ」と話す。

骨材は、直径8㍓から11㍓のモウソウ竹約600材を使用する。京都大学の小林広英准教授が提供してくれた図面を基に、ボルトと針金で固定しながら組み立て、間口4.5㍓、高さ3.2㍓、長さ44㍓のハウス3棟を4カ月かけて完成させた。

「建設費が安く、自分で補修できるのが最大の利点」経費は、人件費と資材代を含めてもパイプハウスの3割ほど。強度もあり、昨年7月の台風11号では一部損傷したが、大きな被害にはならなかった。

「竹ハウスは、初めての人でも建てられるシンプルな構造です」と話す。

▽見学希望＝☎090-1573-6510（有馬）

楽しく 安全に山登り

丸亀市原田町 佐藤 孝雄さん 損害評価員歴3年

「山は四季折々の顔があり、何度登っても違う顔を見せてくれます」と話すのは、善通寺山の会の佐藤孝雄さん（65）。職場の先輩の影響で20代前半から登山を始めた。これまで北アルプスをはじめ、インドヒマラヤなど国内外にある有数の山を踏破した。

最近の山ブームの陰で多く発生する山岳事故を憂い、登山者教育にも力を入れている。山登りの基礎知識や技術を学べる機会を設け、とくに初心者の技術の向上に努める。

「山は危険もありますが、たくさんの魅力にあふれています。十分に備えて、ぜひ皆さんも山登りを楽しんでください」



登山技術を指導中

新米農家奮闘中

坂出市川津町 國重 幸代さん

農業大学校で1年間の研修を受け、平成26年4月に就農した國重幸代さん（45）。「今は規格に合う野菜を作ることと精いっぱいですが、先輩農家さんに教わりながら楽しく作業しています」と話す。



「覚えることがたくさんあり、毎日が勉強です」とレタス畑で話す

27年は、水稻やレタスなど、野菜中心に延べ110㍓を作付けた。栽培技術向上のため、生産部会での勉強会や生産者同士の交流会には積極的に参加する。農業振興にも積極的で、地元の小学生を受け入れ、水稻や野菜の収穫体験などを行っている。

「地域の中でも農家が減り、耕作放棄地が増えていきます。若い後継者が増えるような活動を行っていきたくです」と夢を膨らませる。当面は現状面積のまま、農業機械をそろえての効率的な作業を目指す。

集落活性化のシンボルに 水車復活

観音寺市大野原町

五郷里づくりの会



活動は年間100回を超える五郷里づくりの会



「72時間で約7升を精米できる」と藤岡会長



ソバの脱穀をするメンバー



水車小屋

コトコンと、山からの豊かな水を受けゆっくり回る水車——。かつて農業集落ではいたるところで見られた水車を、「五郷里づくりの会」（観音寺市大野原町、平成23年設立）は、同年12月、大野原町五郷地区に復活させた。

地区住民全員と協賛者、30人以上が参加する同組織会長の藤岡修さん（70）は「水車は、五郷地域を活性化させるシンボル。県外からも見学者がきてくれるようになりました」と話す。

木材は、メンバーが里山から伐採した樹木を使用。基礎造りも、自分たちの手で行った。素人では難しい水車の加工は、地元大工の藤川和也さん（33）が引き受けた。「地域のために協力しました。構造を確認しながら図面作りから始めました」と藤川さん。

水車は、実際に精米や粉引きに活用。耕作放棄地でソバを栽培し、水車で粉に加工する。そ

ば打ちイベントを開催し、来客者に振る舞っている。

小学校の課外授業でも地域学習の場として利用され、児童たちは自然を利用した道具の価値を学ぶ。

メンバーの一人、石井敏さん（71）は「地域間の連携が密になり、徐々に活気が満ちてきたように感じます」と話す。

水車小屋に置いた連絡帳には、感想を自由に書き込める。「想像以上のスケールにびっくりしました」「動く水車の中を初めてみました」など、多くのコメントが書かれている。

藤岡さんは「水車を活動の中心として、みんなで知恵を出し合っていきたい。定期的に催しているイベントですが、今後は集落外の人たちも招いて、五郷の魅力を広くアピールしたい」と意気込みを見せる。

五郷地区の地図やイベント情報はHP参照
<http://gogou.jp/>

----- キリトリ -----

宛先としてハガキに貼ってご活用ください。

クロスワードクイズ

1		2	3		4
		5 C		6	B
7	8				
	9				10
11	D		12 A	13	
14				15 E	

正解者の中から抽選で9名の方に、オリーブ牛コロッケ(5個入)を2箱お届けします。たくさんのご応募お待ちしております。

郵便はがきに、①A～E を順に並べたクイズの答え②郵便番号③住所④氏名（ふりがな）⑤年齢⑥電話番号⑦NOSA I や広報紙への意見、感想、質問⑧身近な情報などをご記入のうえ、ご応募ください。



○応募の宛先／〒761-8083 高松市三名町字東原5番地6
香川県農業共済組合クロスワードクイズ係

○応募締め切り／平成 28 年 2 月 19 日（金）消印有効

○当選者発表／平成 28 年 5 月発行予定の 19 号で発表

応募によって得られた個人情報は、賞品の発送と今後の広報紙作成の参考意見とする以外の目的に利用しません。

- たての力ギ
1. 米飯の上にソースをかけてオープンで焼いた料理
 2. 一つの建物に親の世帯と子の世帯が住む住宅のこと。「○○○○住宅」
 3. グライダーともいう、動力を用いない固定翼の航空機
 4. 「47 都道府○○」
 6. 山口弁で「たいへん」などを指す副詞。関西では「めっちゃ」名古屋では「でら」
 8. 2001 年の世界水泳で 6 つの金メダルを獲得したオーストラリアの選手。「○○○○ープ」
 10. 眠たいときなどに大きく口を開けて息を吸う呼吸動作
 11. 「得手」の読み方
 13. 昔の人の作った和歌

- よいのカギ
1. ○○○○共和国の首都はサントドミンゴ。漢字では「土弥尼加」と表記
 5. 福は内、鬼は外と声を出しながら豆を撒く日。「○○○○の日」
 7. 相手の行動にあきれ返って物が言えない様子。
「○○○○○が塞がらない」
 9. 五十音のあ行。「○○○えお」
 11. 人の目がつかないところで、他人のために苦労や努力をすること。
「○○の下の方持ち」
 12. 外国から母国に帰ること
 14. 手のひらにある線や肉付きで運勢などを判断する占い。「○○○占い」
 15. 梅雨の季節など、湿気の多い時期に発生しやすい菌類

さぬきひめ

スポーツ大好き

さぬき市 やまもと 山本 ちひろ 千尋さん (26)

週に1、2回中学校の体育館を借りて、バスケットボールをしています。中学生の時、部活でしていたので、昔を思い出しながら友達と楽しくプレーしています。最近
はフットサルにも挑戦中です。

小さいころから白いご飯が大好きで、外食の時はパスタ料理よりも定食を食べています。ご飯、おいしいですよ。実家はお米を作っていませんが、お米を育てている農家さんには感謝しています。



Topics

冬場に取り組むジャンボタニシ対策

本県では、昭和60年頃に発生が確認されているジャンボタニシ。田植え後2〜3週間の稲を食害し、欠株被害が多ければ収穫量に影響します。



越冬後の生存率が高い1~2cmの貝

乾燥に強く、半年以上水がなくても生き延びる一方、耐寒性は低く、マイナス3度で

10月下旬に水温が低下してきたり、田んぼが落水されるとき中に浅く潜り込み、活動を開始する翌春まで越冬します。

※詳しくは、農業改良普及センター、農業試験場病害虫防除所にご相談ください。

⑤厳寒期に2回以上耕起し、貝を寒波にさらす。耕起深度はできるだけ浅く（5センチ程度）、ロータリーの回転速度は速く、トラクターの走行速度はできる限り落とす。代かき専用ロータリーを使用するとさらに効果が高い。

水田での対策

○貝を直接寒風にさらすと死滅するので、溝さらいは厳寒期に行うと効果的。

○越冬量を減少させるため、用水を使用しない時期は落水する。

防除のポイント

ほとんどの個体が3日以内に死滅します。

休眠中の今の時期に、適切な防除を行い、春作業に備えましょう。

《前号を見てのご意見》



●(坂出市 男性 81歳)

● 94歳の安藤アヤノさん、
素晴らしい笑顔ですね。私
もフアイトがわいてきまし
た。(高松市 女性 78歳)

● さぬきひめで「恩師にあ

読者の声



こがれて」を拝読しました。私と同じで、若いころを思い出しました。頑張ってください。(小豆島町 男性 63歳)

●食べて菜、ぜひ料理してみたいです。(善通寺市 女性 74歳)

たくさんのお便りをいただき、ありがとうございます。

ひがなばな

第15号
当選者発表

《当选者》

藤本登志榮さん(東かがわ市)
笠井キヨ子さん(三木町)
矢野 登さん(高松市)
須田美智子さん(綾川町)
大原 慈子さん(琴平町)
三好 勝子さん(まんのう町)
田片智津子さん(観音寺市)
細川八重美さん(三豊市)
株式会社さぬき市SA公社さぬきワイナリーの「さぬきレッドリーぶどう100%ジュース」をお届けしました。



ペンネ ブロッコリーの たっぷり1株をソースに



料理紹介者

野菜ソムリエ いけだ なお
池田 奈央さん



料理教室「な〜ちえ」(高松市木太町) 主宰

鮮度が落ちやすいブロッコリーをたくさん消費できる一品。ペンネと一緒にゆがくことでブロッコリーの香りがペンネにも絡みます。そのまま食べる場合のゆで時間は、40秒が目安です。

材料(2人分)

- | | | | |
|---------|-------|-------------|----|
| ○ブロッコリー | (小)1株 | ○オリーブオイルまたは | 適量 |
| ○アンチョビ | 15g | ガーリックオイル | |
| ○ペンネ | 150g | ○塩、コショウ | 適量 |

作り方

1



ブロッコリーを小房に分け、茎はさいの目切りにする。アンチョビは細かく刻む。

2



鍋でペンネ(ゆで時間 11分)を6分ゆで、次にブロッコリーを同じ鍋に入れ5分ゆでる。

3



熱したフライパンに、ゆで上がった②とオリーブオイル、アンチョビを入れる。

4



ブロッコリーをつぶしながら炒め、ペンネに絡める。塩、コショウで味付けして完成。



菊農家が減少する中、一番の若手として活躍している弘毅さん。「県で一番の菊農家になり、産地を守っていききたいです」と力を込めます。

現在、祖父から借りたネットハウス10^アと近所の農家から借りた畑12^ア、新設した鉄骨パイプハウス8^アで栽培しています。

「思いどおりにできたときの充実感が醍醐味です」と話します。白サビ病やダニ防除など、週に1回の病害虫防除を行う他、芽かぎなど十分な手間をかけ、高品質生産に努めます。

電照菊産地の小豆島町池田で、輪菊を栽培している藤本弘毅さん(32)と悠子さん(33)夫妻。「写真は、長女の咲幸ちゃん(4)、次女の美晴ちゃん(1)」

表紙のつづき

